

本学学生も活躍する「サキシマ meets 音楽祭」についてインタビューしました！

<実行委員>

委員長：ミズノ(株) 伊藤 幸司さん

委員：アジア太平洋トレードセンター(株) 福井 崇之さん、軽音楽部 部長 倉園 拓人さん（作業療法学科2年）、部員 朝野 滉大さん（作業療法学科2年）、森ノ宮医療大学 企画課 岸川 靖夫さん

・音楽祭が始まったきっかけは？

伊藤さん：ATC※に新たにできるフードコートにストリートピアノが置かれることを耳にしたんです。私はピアノを弾くので、やった！これからいつでも弾ける！と思っていたら、使用できるのは土日だけということがわかり、それなら別の形で音楽でこの地域を盛り上げられないかなと思ったのが始まりです。ダメ元でサキシマ meets!で音楽ライブをやってみませんかと提案してみたところ、〇〇演奏できますよ！など音楽をされている方が何名か集まってくださり、じゃあやってみようということになりました。そのうちの一人に岸川さんがいたこともあり、森ノ宮医療大学の軽音楽部にも声をかけさせていただきました。



岸川さん：音楽祭を実施しようという話がでたとき、コロナ禍で軽音楽部が出演できる場所がすごく減っている状況でした。軽音楽部の前部長の学生もたくさん新入生が入ってきてくれたので、どうにか出演機会をつくれなかと悩んでいました。そんなとき伊藤さんからお声かけいただき、それなら是非ということで一緒に音楽祭を実施することになりました。

福井さん：私も今まで色々なイベントを見てきましたが、この地域のこんなに色々なプレイヤーが集まるイベントってそう無いので、とてもいい取り組みだと思います。

※ATC：森ノ宮医療大学近隣に位置するイベント・複合型大型モール

・第1回を開催するにあたり大変だったことは？

伊藤さん：バタバタで準備をし、どうにか音楽祭当日を迎えたのですが、何をどうしていいか勝手にわかっておらず、自分が出演するのに裏方も担当しており、パンクしそうになりました。この体制ではこれからこのイベントを続けていくことは難しいと思い、2023年4月に行った第2回の際は準備を早めからして、音響関係を森ノ宮医療大学の軽音楽部の学生たちにもお願いすることにしました。でも結果的に、今度は学生たちに負担がいきすぎてしまったんです…



倉園さん：第2回るとき僕はまだ1年生だったので、先輩方が中心で運営されていました。準備段階から先輩方が全部自分たちでやらないと思われていて、すごく忙しそうにしている先輩を目にしながら、僕たちも何を手伝えばいいかわからずという状態で、課題が残る形になりました。

・出演者はどうやって集めたのか？観客はどれくらい来てくれた？

岸川さん：第1回は、実行委員のメンバー中心に出演していました。でも思ったより観客が集まらなくて、どうすべきか考えたとき、咲洲の中学校・高校の吹奏楽部などに演奏してもらえば、その保護者や友達が見に来てくれるのではという話になりました。本学の学生たちと同じように中高生たちも出演機会が少なくなっており、そんな機会があるのなら是非と顧問の先生も賛同してくれて中高生の出演が決まりました。

倉園さん：そのおかげで中高生が演奏するときは保護者などたくさんの方が来られて、地域の方の演奏の時は高齢者の方々、大学生の時は学生たちと色々な方が見に来てくれていました。

福井さん：音楽祭は日曜日に開催されたこともあり、ATCでも開催されている色々なイベントに参加されたお客さまや、ふらっとATCに来られた方、外国の方も楽しまれていました。

伊藤さん：観客が増えたことは良かったのですが、今度は出演者が多くなりすぎて、時間内に収まらなくなってしまい、新たな課題が生まれました。



・ドタバタの第1回、新たな課題が見えた第2回、第3回はどう変わった？

伊藤さん：第3回は、音響はきちんと技術のある方をお願いしようということになりました。また学生にも色々経験してほしいので、その方に学生への指示だしをお願いしました。開催時間も前回の反省を踏まえて、プログラムをゆったりめに組んだのでいい具合になりました。そしてもう一つ大きなこととして、これまでスタッフには完全ボランティアでお手伝いいただいていたのですが、継続的に運営していくためには備品のレンタルや、お手伝いいただく方への謝礼をお渡しできるようにする必要があるだろうということになりました。そこで、協賛していただいた企業を掲載する形で音楽祭のパンフレットを作成することにしました。満月ボンでおなじみの松岡製菓さんをはじめ、近隣企業を中心に13社も協

賛いただき、必要経費をまかなうことができました。

・今後の目標は？

伊藤さん：3回やってようやく形ができてきましたが、元々の趣旨である“咲洲全体で実施する音楽祭”ということで、会場となっている ATCの方々にもっと参加してもらったり、森ノ宮医療大学の学生や、近隣住民の方々へ広報宣伝を行っていく必要があるなと思います。

倉園さん、浅野さん：軽音楽部は部員が今90人もいますが、なかなか特定のバンド以外から出演希望がでてこないで、もっと色々な部員たちに関わってもらえるように呼び掛けていきたいです。こんなに色々な方と野外で演奏できるのは貴重な機会なので、そのあたりも伝えていきたいです。

福井さん：ATCとしては、咲洲に働きに来ている人、学びに来ている人や住んでいる人などがつながり、地域の活動に是非どんどん参加してもらえれば嬉しいです。



次回は **2024年4月20日(土) 11:00~18:00にATCシーサイド円形ステージ**で予定されています！
咲洲の皆さんによる咲洲の皆さんのための音楽祭に、是非一度足を運んでみてください！



左から、ATC 福井さん、森ノ宮医療大学 岸川さん、ミズノ 伊藤さん、森ノ宮医療大学 朝野さん、倉園さん